

丹出川と和邇川の間の水田地帯(一部休耕田)にも いました!いました!

(令和3年5月某日)

初夏には 蛍が乱舞(?)する丹出川の土手沿いを歩き 旧161号を渡った(信号が無いので細心の注意が必要です)水田域の休耕田に いました!いました! 雄の雉です。昨年秋口にも 同じ場所で見かけたのですが 同じ個体かどうかはわかりません。

雉は飛ぶのは 下手くそと思っていたのですが(実際に驚いて逃げるときは 飛ぶというより 飛び上がってバタッバタッと落ちる印象?) 彼は スムーズに離陸して滑るように 飛んで行きました。また 休耕田を走る様はまるで韋駄天金栗四三のようだったので「四三(しそう)」と呼ぶことにしたのですが 次に「四三(しそう)」に出会っても「四三(しそう)」かどうかはきっと分からないと思います。



韋駄天「四三(しそう)」はサッサッスーッと滑るように駆けるとそのまま離陸し 琵琶湖岸方向に飛んで行きました



さらに農道を北に向かって 和邇川まで歩き川の土手道を 西(中井医院方向)へ歩いてい
ると 水田脇の畑に 何とも仲睦まじい様子の雌雄カップルを大発見!!
雌は草むらに同化して発見しずらいのですが 少しでも移動すると 間髪を入れずに雄
が後を追う まるで優秀なボディガードのようです。



このコースは朝日二丁目
から往復5Km前後の距離
となります。
一度お試しください。

雌を「ホイットニー」
雄を「ケビン」と呼ぶ事
にしました。

ケビンが少し離れた所から
ホイットニーの様子を
伺っています・・

ホイットニーの居場所
わかりますか!? →

答え

ケビンの視線の先の
茂みに佇んでいます →



ケビンはしっかりと
ホイットニーの居場所を
確認しています。